

公立大学法人大阪市立大学
医学部・附属病院運営本部庶務課
電話：06-6645-2711

大阪市立大学医学部附属病院における個人情報の紛失について

大阪市立大学医学部附属病院では、平成 31 年 1 月 25 日（金曜日）、大阪市立大学医学部附属病院の医師が 11 名の患者情報を含む医療データ（注）の入った USB3 本を紛失したことが判明しました。

今回の件でご迷惑をおかけした患者さま、ご家族、関係者ならびに市民の皆さまに深くお詫び申し上げます。

今後、このような事故を繰り返さないよう再発防止に取組み、皆さまの信頼回復に努めてまいります。
なお、現在のところ、本件に関する情報流失等の被害報告はありません。

（注）附属病院医療情報部が医師からの「データ出力及びUSBメモリ貸出し依頼書」による申請に基づき、指定された医療データをUSBに抽出し、貸し出しを行っています。医療データにはパスワードを設定することとしており、利用用途は主に学会発表等です。

1. 事実経過

（1）平成 31 年 1 月 21 日（月曜日）

USB 1 本（患者情報 6 名分）の紛失が医師からの報告により判明。

報告によると学会発表の資料作成のため、平成 30 年 3 月 30 日に申請し、医学部学舎研究室に持ち出していたところ、紛失したとのこと。

貸し出しをしているUSBの全数調査を同日に開始。

（2）平成 31 年 1 月 25 日（金曜日）

貸し出しをしているUSBの全数調査の結果、別の医師 2 名に貸し出していたUSB 2 本（1 本に 4 名分、もう 1 本に 1 名分、計 5 名分の患者情報）の紛失が新たに判明。

報告によると学会発表の資料作成のため、それぞれ平成 30 年 7 月 26 日と平成 29 年 9 月 28 日に申請し、医学部学舎研究室に持ち出していたところ、紛失したとのこと。

2. 紛失した患者情報

11 名分のCT画像 333 枚

- 11 名の「氏名」「生年月日」「年齢」「性別」が記載されている。
- 事実経過（1）記載の 6 名分については、病理結果や病名等も記載されている。この 6 名分のデータにはパスワード設定を行っていた。
- 事実経過（2）記載の 5 名分のデータには、システムの都合によりパスワードの設定を行って

いなかった。

3. その後の対応と再発防止策について

当該患者さまへは、平成31年1月29日（火曜日）から順次、電話にて説明と謝罪を行い、追って同内容の文書をお送りすることとしています。

今回の個人情報の紛失を厳粛に受け止め、全診療科部長が出席する基幹会議において、個人情報の取扱ルールの遵守について改めて注意喚起をする等、院内及び学内に周知徹底し、再発防止に全力をあげてまいります。

本件に関する問い合わせ先： 大阪市立大学医学部附属病院
庶務課 山本・餅田 TEL：06-6645-2711